

令和 7 年度

事業報告書

社会福祉法人 相生市社会福祉事業団

目 次

	ページ
I 総括的事項	1
II 法人・本部事務局の取組み	1
III 各施設の取組み	8
【養護老人ホーム愛老園】	8
【特別養護老人ホーム椿の園】	1 2
【保育所】（相生・平芝・矢野川）	1 5
【障害者支援施設野の草園】	1 9

I 総括的事項

少子高齢化の動きは進行しており、児童福祉施策と高齢者施策は日本の社会保障制度、特に社会福祉における二つの大きな柱となっている。当事業団でも社会福祉事業の目的及び令和7年度事業計画の経営理念や基本方針に基づき、施設の利用者様の尊厳を守りながら、相生市から指定管理を受けた養護老人ホーム愛老園、特別養護老人ホーム椿の園及び障害者支援施設野の草園（令和6年度から5年間）相生保育所、平芝保育所及び矢野川保育所（令和4年度から4年間）の適切かつ効率的な管理運営に努めた。また、3保育所においては令和8年度からの3年間の指定管理を新たに受け、市所管課と連絡調整を図りながら適切な管理運営に努める。

経営状況に関しては、今年度は椿の園において大幅に定員に満たない状況となり、入院者の増加も重なって過去に例をみないほどの約2,000万円の赤字決算となった。愛老園や野の草園においても赤字決算となっており、必要とされるサービスを検証し、経営と提供するサービスの課題を明らかにして魅力的な園づくりに努め、利用者様を確保し収支の改善を図る。

II 法人・本部事務局の取組み

令和6年度より3年間で、常勤職員全員が受講できるよう計画しているセルフ・エンパワーメント研修の2年目を実施した。前年度に受講した職員にも好評で、自分の内側にある力や可能性を自覚し、それを高めて主体的に行動できる状態をつくる。自己管理能力や意思決定力を高めて日常生活でのストレス対処や自己肯定感の向上に役立ち、職場の人間関係の形成や同僚に対してのハラスメント対策にも一定の効果が得られている。

育児・介護休業法の改正により当事業団でも規則改正を行った。改正に際しては各施設の職員の代表が集まり活発な意見交換を行い『柔軟な働き方を実現するための措置』として、養育両立支援休暇と短時間勤務（小学校就学前まで）制度を選択し、子育てと仕事を両立しながら働き続けられる環境の整備を行った。

また、人材確保策についてはハローワーク、求人誌、求人サイト及び人材紹介等を幅広く活用し、年度内には産休等の代替職員以外は確保する事ができた。しかしながら、長期的な視野での介護員、看護師の若年層を対象とした正規職員募集には応募者がなかった。引き続き施設の円滑な運営のため、職員の確保、職場定着に努める。

1. 役 員

(1) 理 事

(令和8年3月31日現在)

役 職 名	氏 名	職 名 等
理 事 長	高 田 雅 仁	
副 理 事 長	山 本 大 介	相生市健康福祉部長
業務執行理事	西 角 隆 行	相生市社会福祉事業団事務局長
理 事	丸 山 英 男	社会福祉法人相生市社会福祉協議会会長
	魚 橋 哲 夫	医療法人社団魚橋会魚橋病院院長
	志 茂 邦 彦	特別養護老人ホーム椿の園園長

(2) 監 事

監 事	北 條 和 幸	元相生市民生・児童委員協議会会長
	山 本 道 雄	元相生市立養護老人ホーム愛老園園長

2. 評議員

(令和8年3月31日現在)

氏 名	職 名 等
渡 邊 慎 治	社会福祉法人後楽園認定こども園どんぐりの家園長
瀧 川 憲 昭	相生市矢野町連合自治会会長
犬 島 弘 行	相生市若狭野町連合自治会会長
神 尾 佐智子	元相生市立障害者支援施設野の草園保護者
岸 本 益 美	相生市民生・児童委員
中 西 フヨ子	元相生市民生・児童委員
番 匠 真由美	相生市健康福祉部長寿福祉室室長

3. 会議等

(1) 理事会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
令和7年度 第1回	令和7年6月6日 出席 7名 欠席 1名	議案 第1号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和6年度事業報告及び決算について	可決
		議案 第2号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和7年度定時評議員会の招集について	可決
		議案 第3号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和7年度社会福祉事業資金収支補正 予算（第1号）について	可決
		議案 第4号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事選任候補者の推薦について	可決
		議案 第5号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 監事選任候補者の推薦について	可決
		議案 第6号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 評議員選任候補者の推薦について	可決
第2回	令和7年6月23日 出席 8名 欠席 0名	議案 第7号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事長の選定について	選定
		議案 第8号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 副理事長の選定について	選定
		議案 第9号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 業務執行理事の選定について	選定
第3回	令和7年11月13日 出席 8名 欠席 0名	議案 第10号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和7年度社会福祉事業資金収支補正 予算（第2号）について	可決
		議案 第11号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 職員の育児・介護休業等に関する規則 の一部を改正する規則の制定について	可決
		報告 第1号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事長及び業務執行理事の職務執行 状況について	了承
第4回	令和8年3月24日 出席 8名 欠席 0名	議案 第12号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 椿の園及び愛老園の給食にかかる食 事サービス提供業務委託契約締結の 追認について	追認
		議案 第13号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和7年度社会福祉事業資金収支補正 予算（第3号）について	可決
		議案 第14号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 組織規則の一部を改正する規則の制	可決

			定について	
		議案 第 15 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 職員就業規則の一部を改正する規則 の制定について	可決
		議案 第 16 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 職員給与規則の一部を改正する規則 の制定について	可決
		議案 第 17 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 経理規則の一部を改正する規則の制 定について	可決
		議案 第 18 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 役員等賠償責任保険契約の締結につ いて	可決
		議案 第 19 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 椿の園及び愛老園の給食にかかる食 事サービス提供業務委託契約締結の 承認について	可決
		議案 第 20 号	前期末支払資金残高の本部運営経費 への使用について	可決
		議案 第 21 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和 8 年度事業計画について	可決
		議案 第 22 号	障害者支援施設野の草園拠点区分積 立資産の目的以外への使用について	可決
		議案 第 23 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和 8 年度社会福祉事業資金収支予算 について	可決
		報告 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事長及び業務執行理事の職務執行 状況について	了承
		議案 第 24 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事長の選定について	選定
		議案 第 25 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 職員の選任及び解任について	可決

※出欠人員には、監事を含む。

(2) 評議員会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
令和 7 年度 定時	令和 7 年 6 月 23 日 出席 9 名 欠席 0 名	報告 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和 6 年度事業報告について	了承
		議案 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 令和 6 年度決算（計算書類及び財産目 録）について	可決

	議案 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事の選任について	可決
	議案 第 3 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事の選任について	可決
	議案 第 4 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事の選任について	可決
	議案 第 5 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事の選任について	可決
	議案 第 6 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事の選任について	可決
	議案 第 7 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 理事の選任について	可決
	議案 第 8 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 監事の選任について	可決
	議案 第 9 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業団 監事の選任について	可決

※出欠人員には、監事を含む。

(3) 監事の監査

監査区分	実施年月日	監査内容
事業決算監査	令和 7 年 5 月 27 日	令和 6 年度の業務執行状況及び収支決算状況
中 間 監 査	令和 7 年 10 月 30 日	令和 7 年度上半期の業務及び予算執行状況

(4) 第三者委員会

開催回等	開催期日・出欠人員	審議内容
令和 7 年度 第 1 回	令和 7 年 10 月 30 日 委員 2 名・行為者 2 名 関係者 3 名	サービス苦情等に関する行為者及び関係者への 聞き取り調査
令和 7 年度 第 2 回	令和 7 年 11 月 13 日 委員 2 名	聞き取り調査による今後へ対応協議

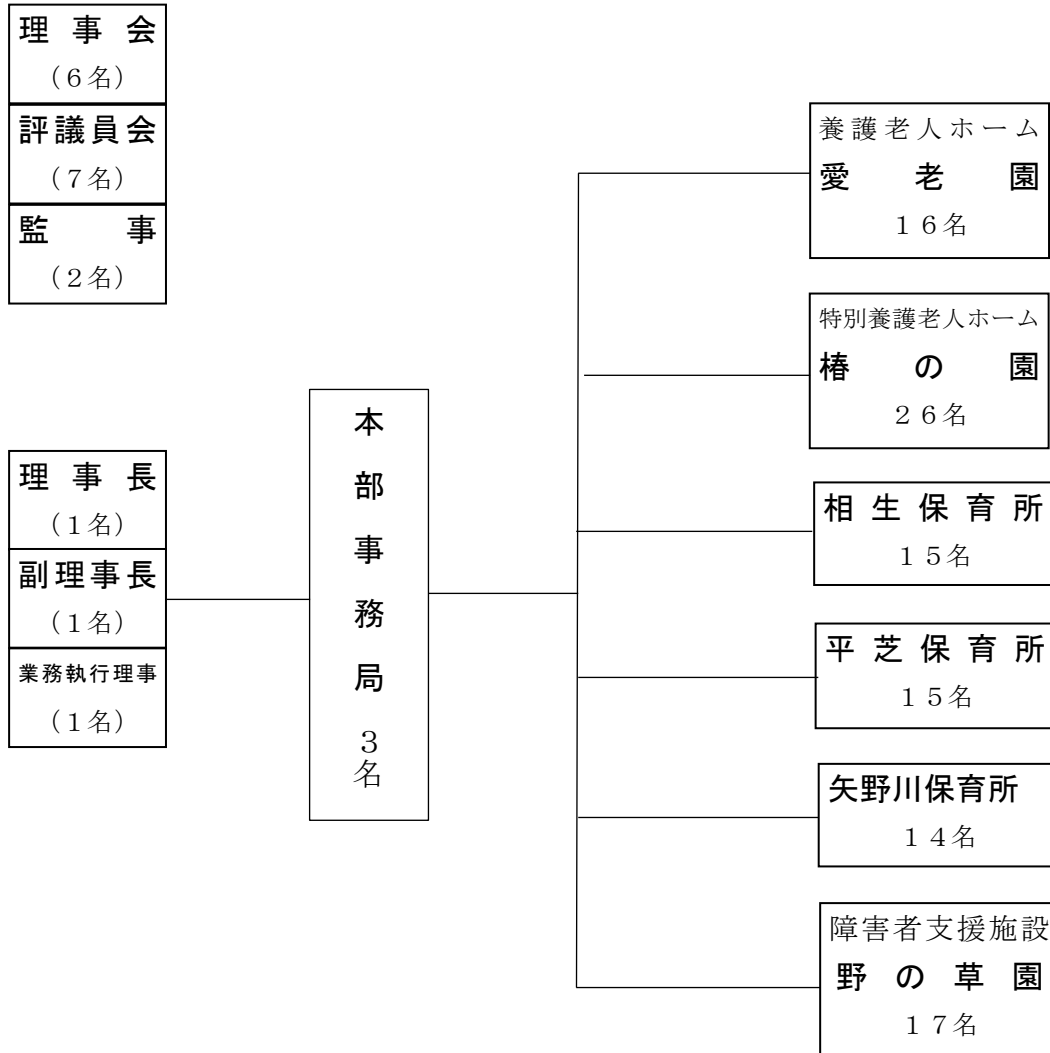
4. 施設事業等の名称及び所在地

(令和8年3月31日現在)

施設事業等	施設事業所名	所在地及び電話番号
主たる事務所	本部事務局	相生市矢野町真広 397 番地 1 電話 0791-29-1208
養護老人ホーム	養護老人ホーム 愛老園	相生市矢野町真広 409 番地 電話 0791-29-0290
在宅老人短期入所事業		
特定施設入居者生活介護事業		
指定介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 椿の園	相生市矢野町真広 397 番地 1 電話 0791-29-1005
指定短期入所生活介護事業		
保 育 所	相生保育所	相生市汐見台 2 番地 2 電話 0791-22-7135
	平芝保育所	相生市那波野一丁目 6 番 13 号 電話 0791-22-7137
	矢野川保育所	相生市汐見台 2 番地 2 電話 0791-25-7122
生活介護事業	障害者支援施設 野の草園	相生市那波野一丁目 6 番 15 号 電話 0791-23-6450
就労継続支援 B 型事業		

社会福祉法人相生市社会福祉事業団組織図

令和 8 年 3 月 31 日現在



(職員数)	正 規 職 員	3 4 名
	嘱 託 職 員	4 3 名
	パート職員	2 9 名
	合 計	1 0 6 名

Ⅲ 各施設の取組み

【養護老人ホーム愛老園】

位 置 相生市矢野町真広409番地

事業の種別 第一種社会福祉事業 養護老人ホームの経営
第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営
第二種社会福祉事業 老人居宅介護等事業の経営

事業報告

『養護老人ホーム（措置入所）・・・定員50人』

1. 概要

施設の運営は、老人福祉法の基本的理念に基づき、清流矢野川に沿う自然豊かで閑静な環境のもとで、入所者の個性や自主性を尊重し、その人らしい生活が送れるよう社会復帰及び自立促進のために必要な指導・訓練などの支援を行った。また、介護保険法に基づく特定施設入居者生活介護の指定施設として、要支援・要介護者には適切な介護サービスの提供に努めた。

入所者の健康保持・増進については、週1回の嘱託医の回診と年2回の定期健康診断による疾病の早期発見や機能回復訓練などにより、機能低下の防止、現存機能の維持向上に努めた。食生活については、調理業務の委託による安定的な提供体制のもと、委託業者との連絡を密にとりながら入所者の食習慣や嗜好が食事に反映されるよう個別メニューや季節感が味わえる工夫と家庭的な食事の提供に努めた。

行事・レクリエーションについては、令和7年度も新型コロナ・インフルエンザ等感染症等を懸念し中止したものもあったが、昨年に引き続き合同敬老会を開催することができた。また、公用車や外食など外出の機会を増加させるなど取り組みを行うとともに、施設内では、ボランティアのご協力により、懐かしの歌会に加え、二胡と一緒に歌おう会を催すなど多くの入所者が参加され楽しいひと時を過ごすことができた。

職員の資質向上については、サービスや職員のモチベーションの向上に欠かせないものであり、オンライン中心に、各種研究・講習会への積極的参加を促し、職場内研修等によりフィードバックに努めた。

防災対策については、火災を想定した避難誘導、通報、消火訓練を実施するとともに、土砂災害を想定した避難誘導訓練を業務継続計画（BCP）に則り行った。

2. 入所状況（定員 50人）

延入所者数 16,272人（令和6年度 17,094人）

1日平均 44.6人（令和6年度 46.8人）

（1）入退所・入院の状況（令和7年4月～令和8年3月）（単位：人）

月	初日 在籍数	入所数	退所数	退所内訳				末日 在籍数	延人数	入院日数 (日)
				死亡	復帰	入院	措置替			
4	47							47	1,410	159
5	47		1		1			46	1,457	160
6	46		1			1		45	1,380	128
7	45							45	1,395	115
8	46	1	1	1				45	1,426	127
9	45							45	1,350	176
10	45		2	1		1		43	1,395	194
11	43		1			1		42	1,290	110
12	42		1	1				41	1,302	112
1	41	3						44	1,271	92
2	44							44	1,232	37
3	44	1	1	1				44	1,364	67
計		5	8	4	1	3			16,272	1,477

※初日付入所者は初日在籍数に、末日付退所者は末日在籍数に含む。

（2）措置機関別の状況（年度末現在）

措置機関別 入所者数	相生市	たつの市	赤穂市	太子町	大阪市	計
令和7年3月31日現在 入所者数	40人	2人	3人	1人	1人	47人
令和8年3月31日現在 入所者数	37人	1人	4人	1人	1人	44人

(3) 入所者の年齢区分別状況（年度末現在）

年齢区分 入所者数	60 歳～	70 歳～	80 歳～	90 歳～	計	最高	最低
令和 7 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	1 人	13 人	27 人	6 人	47 人	100 歳	68 歳
令和 8 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	1 人	14 人	23 人	6 人	44 人	101 歳	69 歳

(4) 介護保険介護認定状況（年度末現在）

認定入所者数 27 人（令和 6 年度 27 人）

介護度 年度別	要支援	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	小計	自立	総計
令和 7 年 3 月 31 日現在 人数・構成比率	1 人 3.8%	13 人 48.1%	6 人 22.2%	4 人 14.8%	3 人 11.1%	0 人 0.0%	27 人 100%	20 人	47 人
令和 8 年 3 月 31 日現在 人数・構成比率	3 人 11.1%	9 人 33.3%	6 人 22.2%	5 人 18.6%	3 人 11.1%	1 人 3.7%	27 人 100%	17 人	44 人

『老人短期入所事業（ショートステイ）・・・空床利用』

1. 概 要

65 歳以上で介護する家族等が病気等の理由により、自宅で介護を受けることが一時的に困難な方を短期間養護し、生活習慣等の指導を行うと共に体調の調整を図ることを目的として支援を行った。

2. 利用状況

延利用者数 2 人（令和 6 年度 14 人）

1 日平均 0.005 人（令和 6 年度 0.04 人）

月別利用者延人数 (単位：人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6 年度	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	14
7 年度	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

『特定施設入居者生活介護事業』

1. 概 要

入所者で身体上または精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、入浴、排せつ、食事等の介護、洗濯、掃除等の個別のニーズに基づいた介護サービスを提供した。

2. 利用状況

月別利用者延人数

(単位：人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6年度	23	24	25	25	26	25	25	26	27	27	26	26	305
7年度	28	27	26	27	27	26	23	24	23	27	27	28	313

【特別養護老人ホーム椿の園】

位 置 相生市矢野町真広 3 9 7 番地 1

事業の種別	第一種社会福祉事業	特別養護老人ホームの経営
	第二種社会福祉事業	老人短期入所事業の経営

事業報告

『特別養護老人ホーム・・・定員 50 人』

1. 概 要

当施設では、老人福祉法及び介護保険法の理念に基づき、利用者が尊厳を持ち、いきいきと、その人らしい生活が送れるよう利用者個々のニーズを取り入れたサービス計画に沿い、介護・看護等の各部門が協働して質の高いサービスの提供と自立支援に努めた。

利用者の高齢化・重度化が進む中、日々きめ細かな体調管理を行い、医療との密接な連携により、定期的な健康診断や嘱託医による回診、理学療法士による機能回復訓練や歯科衛生士による口腔衛生の管理を実施し、機能低下の防止に努めた。

食事・栄養面では、個々の栄養ケア計画に基づき利用者の心身の状況に合った食事環境を整え、嗜好や季節感を取り入れた安全でおいしい食事の提供に努めた。

また、行事・レクリエーションについては、新型コロナウイルス感染症が軽症化している中、感染症に注意しながら、コロナ禍以前と同様に、愛老園との合同敬老会を矢野小学校、矢野川幼稚園や相生・矢野川保育所の児童等を招いて開催し、生け花等ボランティアの受け入れも実施した。また、季節を感じられるような室内装飾を利用者と共に作成した。月に一度の園内喫茶も利用者のくつろぎのひとつとして実施した。

職員の資質向上については、サービス向上に欠かせない研修に参加し、職場内での情報共有をするとともに、初任者は認知症介護基礎研修をはじめとした基本的な研修を受講し、また、園内研修で職員の技術等向上に努めた。

安全管理対策については、自然災害や感染症などにより、大きな被害が生じた場合の業務継続計画（BCP）に基づき、発生時の対応について確認するとともに、火災を想定した防災訓練や、愛老園と合同での土砂災害を想定した避難訓練、不審者侵入に備えた防犯訓練、さらに利用者の急変時に備え A E D を使用した救命救急講習を行い、防災や安全確保への意識向上に努めた。また、椿の園の広報紙「ほのぼの」を 3 回発行し、利用者ご家族様等へ配付することにより施設と地域が共存し、理解と協力を深められるよう努めた。

2. 利用状況（定員 50人）

延利用者数 17,097人（令和6年度 17,993人）

1日平均 46.8人（令和6年度 49.3人）

（1）入退所・入院の状況（令和7年4月～令和8年3月）（単位：人）

月	初日 在籍数	入所数	退所数	退所内訳				末日 在籍数	延人数	入院日数 (日)
				死亡	復帰	入院	施設替			
4	49	1	2	2				48	1,438	303
5	48	1	2	1		1		47	1,485	270
6	47	1	3			3		45	1,363	221
7	45	4						49	1,487	228
8	49	1	1			1		49	1,536	214
9	49	1	1	1				49	1,494	45
10	49	1	1			1		49	1,498	101
11	49	2	2	2				49	1,456	162
12	50	1	4	3		1		46	1,491	348
1	46	1	4	3		1		43	1,407	330
2	43		4	2		2		39	1,157	199
3	39	6	1			1		44	1,285	194
計		20	25	14		11			17,097	2,615

※初日付入所者は初日在籍数に、末日付退所者は末日在籍数に含む。

（2）地域別利用状況（年度末現在）

地域 利用者数	相生市	赤穂市	たつの市	上郡町	岡山市	姫路市	計
令和7年3月31日現在 利用者数	40人	2人	3人	3人	1人	1人	50人
令和8年3月31日現在 利用者数	34人	2人	2人	4人	0人	2人	44人

(3) 利用者年齢区分別状況（年度末現在）

年齢区分 利用者数	64 歳～	80 歳～	90 歳～	100 歳～	計	最高	最低
令和 7 年 3 月 31 日現在 利 用 者 数	1 3 人	1 4 人	2 2 人	1 人	5 0 人	100 歳	6 5 歳
令和 8 年 3 月 31 日現在 利 用 者 数	9 人	1 6 人	1 8 人	1 人	4 4 人	101 歳	7 4 歳

(4) 介護保険介護認定状況（年度末現在）

介護度 年度別	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計	平 均 介護度
令和 7 年 3 月 31 日現在 人 数 ・ 構 成 比 率	0 人	0 人	1 2 人	2 0 人	1 8 人	5 0 人	4.12
	0.0%	0.0%	24.0%	40.0%	36.0%	100.0%	
令和 8 年 3 月 31 日現在 人 数 ・ 構 成 比 率	0 人	0 人	1 4 人	1 6 人	1 4 人	4 4 人	4.0
	0.0%	0.0%	32.0%	36.0%	32.0%	100.0%	

『老人短期入所事業（ショートステイ）・・・定員 8 人』

1. 概 要

寝たきりや認知症など、介護を必要とする高齢者を抱える家族が、一時的に家庭での介護が困難な場合に、短期入所サービスを利用されるもので日常生活上の援助などを個別のニーズに基づいた介護サービス計画により提供した。

2. 利用状況

延利用者数 1, 7 4 8 人(令和 6 年度 2, 0 9 4 人)

1 日平均 4. 8 人(令和 6 年度 5. 7 人)

月別利用者延人数 (単位：人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6 年度	193	198	211	190	194	190	211	190	151	120	120	126	2,094
7 年度	132	148	143	126	110	126	175	170	153	162	133	170	1,748

【保育所】

位 置	相生市立相生保育所	相生市汐見台 2 番地 2
	相生市立平芝保育所	相生市那波野一丁目 6 番 1 3 号
	相生市立矢野川保育所	相生市汐見台 2 番地 2

事業の種別 第二種社会福祉事業 保育所の経営

事業報告

1. 概要

(1) 相生保育所

一人ひとりを大切にする保育を目指し、家庭や関係機関の協力を得て、地域の自然や施設等を積極的に活用し、日々の生活や遊びを通じて健やかで豊かな生活体験を広げる保育を行った。

令和 7 年度に 4 月から開始した園舎改修工事は、保護者および職員の協力により 9 月に無事完成を迎え、安全な本設仕様の園舎となった。防災面では、地震想定 of 訓練に合わせて防災食の調理体験を取り入れ、自らおにぎりを作る経験を通して、災害時への備えを身近に感じる機会を設けた。また、地域高年クラブとの交流会や、椿の園の運動会に参加し、ダンスの披露や玉入れを共に行うことで、高齢者の方々と心を通わせる貴重なひと時となった。保健衛生面では、インフルエンザ流行時は、迅速な防止策を講じ、子どもの健康確保と安全な集団生活の継続に注力した。

(2) 平芝保育所

『子どもたち一人ひとりの生きる力を育みます。』の保育理念のもと、保育所が安心できる場所となるよう、職員一人ひとりが意欲や質の向上、職員間の連携を常に念頭に置き、保護者から信頼される保育所を目指した。

令和 7 年度は、前年度から導入している保育 ICT システム「コドモン」をより活用できるよう、帳票のデジタル化に向けた準備を進めるとともに、研修動画を隙間時間に視聴できるようにすることで、職員の負担軽減や資質の向上に役立てていった。

また、以前地域に配付していた「Hey! ほっ通信」を再開し、地域に向けて保育所内での行事や、保育所近辺を散歩している様子を発信したり、高年クラブとの行事を、ゆったり座って参加できる内容へと見直したりすることで、より地域との交流が深められるよう努めた。

さらに、施設の周囲をフェンスで囲い不審者対策を強化するとともに、安全計画の見直しや修正を行うことで、安全管理の一層の充実を図った。

(3) 矢野川保育所

保育理念・保育方針に基づき、充実した環境の中で豊かな心を養い、情緒の安定や体力の増進、規則正しい生活を身につけることができるよう努めた。

また、地域環境を活用することで、身近な自然に触れたりいろいろな遊具で身体を動かして遊ぶことを楽しんだりすることができた。

保育ICTシステムの導入により、保護者の利便性の向上となったが、令和7年度は保育士のカリキュラム作成に要する時間を軽減し、子どもたちと関わる時間を増やし保育の質の向上を目指すために、カリキュラム作成等の導入準備に取り掛かった。また、三保育所5歳児交流行事バス遠足を11月に予定していたが、インフルエンザ感染症の感染が拡大し、実施を中止とした。しかし、5歳児の園外活動の必要性から3月に当初の計画同様実施することができた。

業務継続計画の運用では、災害非常時用保存食（おにぎり）の確保に伴い、阪神淡路大震災の教訓として保存食を食べる経験を行った。

2. 利用状況

(1) 月別入所状況

(単位：人)

	相生保育所 (定員70人)		平芝保育所 (定員70人)		矢野川保育所 (定員55人)		合 計 (定員195人)	
月	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度
4	51	47	53	52	45	48	149	147
5	51	47	53	52	45	48	149	147
6	51	48	53	52	45	46	149	146
7	53	48	53	52	45	46	151	146
8	53	48	55	52	45	46	153	146
9	53	48	55	52	45	47	153	147
10	53	49	56	51	45	47	154	147
11	53	49	56	51	45	48	154	148
12	53	49	59	54	45	49	157	152
1	53	49	58	55	45	49	156	153
2	53	49	58	55	45	50	156	154
3	53	49	58	55	45	50	156	154
合計	630	580	667	633	540	574	1,837	1,787
平均	52.5	48.3	55.6	52.8	45.0	47.8	153.1	148.9

(2) 年齢別入所状況

(令和8年3月31日現在)

区 分	在籍数	内 訳			
		0 才 児	1・2才児	3 才 児	4才以上児
相生保育所	49人	0人	12人	14人	23人
平芝保育所	55人	3人	12人	13人	27人
矢野川保育所	50人	3人	12人	8人	27人
計	154人	6人	36人	35人	77人

(3) 特別保育事業

①延長保育事業

(単位:人)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相 生	6年度	12	2	6	5	8	3	3	8	8	3	5	3	66	5.5
	7年度	4	3	7	9	5	6	5	12	11	28	19	20	129	10.8
平 芝	6年度	5	6	5	15	13	7	5	6	22	45	34	31	194	16.2
	7年度	60	58	49	94	43	49	54	34	44	44	43	35	607	50.6
矢野川	6年度	25	1	0	5	24	2	4	0	4	6	6	0	77	6.4
	7年度	3	0	0	0	0	1	11	0	2	0	9	2	28	2.3
合 計	6年度	42	9	11	25	45	12	12	14	34	54	45	34	337	28.1
	7年度	67	61	56	103	48	56	70	46	57	72	71	57	764	63.7

②一時預かり事業

(単位:人)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相 生	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	3	11	0.9
	7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平 芝	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	1	9	0.8
矢野川	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合 計	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	3	11	0.9
	7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	1	9	0.8

③障害児保育事業

(単位:人)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相 生	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
	7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
平 芝	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
	7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
矢野川	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
	7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
合 計	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
	7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0

【障害者支援施設野の草園】

位 置 相生市那波野一丁目 6 番 1 5 号

事業の種別 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業の経営

事業報告

1. 概要

課題である経営の安定化を図るため近隣の特別支援学校や相談支援事業所等関係機関への新規利用候補者の情報提供依頼や、施設見学希望者の受け入れを積極的に行い 1 名の新規利用契約を締結することが出来たが、保護者の高齢化により将来を見据えた入所事業所への利用替え等による在籍利用者の退所もあり依然として収入確保が難しい状況が続く中、物価高騰による経費の増額も重なり積立金を取り崩す厳しい経営状態となった。

(1) 利用者サービスの充実

前年度より再開した日帰り旅行については、本年度は生活介護、就労継続支援 B 型のそれぞれの利用者(家族)の要望を出来る限り取り入れ、生活介護は貸し切りバス旅行、就労継続支援 B 型は利用者自身が行先や公共交通機関の利用など計画し充実した旅行を提供することが出来た。

就労継続支援 B 型事業では、企業での職場実習において当該利用者のフォロー、企業担当者と情報の共有や連携を密にした結果、1 名が本年度末をもって退所し令和 8 年 4 月 1 日付けで就職することが出来た。

(2) 家庭、関係機関との連携

家族に対する説明会を開き、福祉サービスの提供内容や事業所の運営状況を報告するとともに、家族からの質疑等に対しては誠意をもって対応し信頼関係の維持に努めた。

相生市自立支援協議会相談支援部会に委員として出席し、市内の様々な障害福祉サービス事業所と情報を共有し障害福祉サービスの質の向上に努めた。

また、本事業団ホームページへ提供している障害福祉サービスの内容や新着情報として活動の様子を掲載、また家族・関係機関等への広報紙配付等積極的に事業所の情報を発信した。

(3) 施設の社会化

近隣の特別支援学校からの卒業後の進路先候補としての実習の受け入れはなかったが、双葉小学校2年生の「町探検」や双葉中学校2年生女子生徒3名の「トライやるウィーク」の受け入れを行い地域にある障害福祉サービス事業所として関心を持ってもらう機会が出来た。

また、地元地域の「なばのふれ愛まつり」に実行委員として参加し地域との交流を深めた。

(4) 災害予防対策とリスク管理

事業所単位の消防避難訓練や隣接する平芝保育所との合同の消防避難訓練や地震を想定した避難訓練を実施し支援者としての責任と執るべき行動を確認し、災害に対する意識付けを行った。

(5) 職員の資質の向上

外部研修ではオンラインや対面式の各種研修会に積極的に参加した。

内部研修では、「虐待防止のための指針」及び「身体拘束等の適正化のための指針」に基づく虐待防止研修を、「感染症の発生及びまん延防止等のための指針」に基づく感染症に対する研修を実施し職員の意識付けと知識の向上に努めた。

2. 利用者の状況

(1) 生活介護事業（定員19人）

（令和8年3月31日現在）

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合 計
男 性			1人	1人	4人	3人	9人
女 性				3人	1人	2人	6人
合 計			1人	4人	5人	5人	15人

(2) 就労継続支援B型事業（定員17人）

（令和8年3月31日現在）

男 性	6人
女 性	6人
合 計	12人

(3) 年齢別利用状況

(令和8年3月31日現在)

年齢 性別	20歳 未満	20～ 39歳	40～ 59歳	60～ 64歳	65歳 以上	計	平均年齢
男 性		4人	9人	1人	1人	15人	47歳 5ヶ月
女 性		4人	8人			12人	44歳 7ヶ月
合 計		8人	17人	1人	1人	27人	46歳 2ヶ月

(4) 利用期間状況

(令和8年3月31日現在)

期間 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計	平均利用期間
男 性	2人	2人	3人		8人	15人	13年 6ヶ月
女 性	2人	2人		1人	7人	12人	16年 4ヶ月
合 計	4人	4人	3人	1人	15人	27人	14年 9ヶ月

(5) 障害別状況

(令和8年3月31日現在)

区 分 性 別	知的障害			身体障害		精神障害	
	療A (重度)	療B1 (中度)	療B2 (軽度)	1種 3級	2種 5級	2級	3級
男 性	7人	3人	4人		2人		1人
女 性	6人	5人	1人	1人		2人	
合 計	13人	8人	5人	1人	2人	2人	1人

※複数の障害がある場合には、障害種別ごとに重複して掲載。

※利用者一名は精神障害のみ。